

製品名: リン酸化 Smad3 (Ser425) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00823**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD3 SMAD3; MADH3; Mothers against decapentaplegic homolog 3; MAD homolog 3; Mad3;
別名	Mothers against DPP homolog 3; hMAD-3; JV15-2; SMAD family member 3; SMAD 3; Smad3; hSMAD3
遺伝子 ID	4088
SwissProt ID	P84022
免疫原	抗血清は、Ser425 のリン酸化部位周辺のヒト Smad3 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 376-425

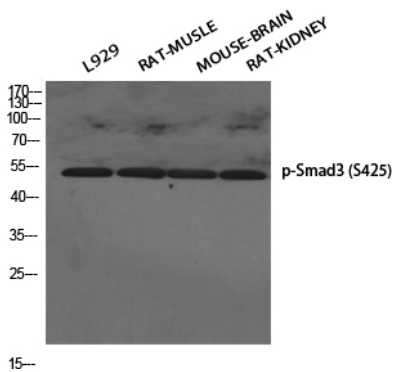
背景

Smad3 転写因子は、TGF- β 型受容体によってリン酸化・活性化されます。受容体制御型 Smad (R-Smad) は、標的遺伝子のプロモーター領域にあるコンセンサス DNA 結合エレメントに直接結合します。マウスでは、粘膜免疫応答の確立と骨格の適切な発達に必須です。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



リン酸化 Smad3 (Ser425) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 Smad3 (Ser425) のウエスタンブロット分析。